



## 交通安全に役立てて そお鹿児島農協から支援金

10月4日（木）、役場応接室において『交通事故対策事業に係る支援金』の贈呈式が行われました。

贈呈式では、そお鹿児島農業協同組合の竹内和久常務が「この支援金は、共済事業の基金を活用したものです。大崎町の交通安全対策に役立ててほしい」と挨拶し、町長へ100万円を贈呈しました。

東町長は、「通学路などに防犯灯を設置するなどして子どもの交通安全防止に努めたい。大切に活用させていただきます。」とお礼を述べました。



▲支援金を町長に贈呈するそお鹿児島農業協同組合の竹内和久常務



## 関東野方会員 ふるさとの祭りを堪能！

10月5日（金）、関東野方会の会員3名が、30周年を迎えた野方ふれあいふるさとまつりに合わせ帰郷しました。

帰郷されたのは、会長の北村輝昭さん、小田龍義さん、輿石ノリ子さんの3名で野方ふれあいふるさとまつりに参加しました。

25年前に設立された関東野方会では、年に一度総会を開催し、会員同志の交流を深めているそうです。

会長の北村さんは、「とてもにぎやかで楽しかったです。ふるさとの祭りを堪能しました。」と喜んでいました。



▲写真左から小田龍義さん、弓削野方公民分館長、北村輝昭会長、輿石ノリ子さん（旧姓鶴丸）



## 戦没者並びに 消防殉職者追悼式

10月19日（金）、都萬神社境内にある慰霊塔において、大崎町戦没者並びに消防殉職者追悼式が行われました。

式には、遺族や関係者が参列し、全員で黙とうを捧げました。

東町長が「先の大戦で祖国と家族を想い戦渦に散華された戦没者や我が身の危険を顧みず消防任務の最中に殉職された団員の御霊に対し、謹んで哀悼の誠を捧げます。」と式辞を述べました。

続いて、町議会議長、遺族代表、消防団団長が追悼のことばを述べ、参列者全員で献花を行いました。



▲追悼のことばを述べる遺族代表